

# 備北地区消防組合消防本部・三次消防署新庁舎建設工事

発注者：備北地区消防組合

設計者：株式会社あい設計



## 住民の安全・安心な暮らしを支える庁舎

高台に位置する新庁舎は、高い耐震性能や非常用発電設備等を備えることで、大規模災害時にも24時間365日消防機能を維持継続できる。また、緊急車両が1秒でも早く出動できる動線を最大限配慮し、庁内は直線的な室配置としたほか、訓練施設は高低差のある敷地形状を活かした。さらに、開放的なエントランスと見学デッキの活用により、“開かれた消防”として、住民が消防を身近に感じることができ、地域における防災意識を高める拠点としての役割も果たすことができる。環境への配慮として、外壁の高断熱化やアルミ樹脂複合サッシの使用、高効率の設備機器や太陽光発電設備の導入により、BEI値=0.39を実現した。

## 計画地

所在地 広島県三次市十日市町 10168-1 外内地

敷地面積 12,674.14 m<sup>2</sup>

## 構造・規模

	建築面積	延床面積	構造	階数
庁舎棟	2,072.02 m <sup>2</sup>	2,799.59 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造	地上2階建て
主訓練塔	85.60 m <sup>2</sup>	204.30 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造	地上4階建て
副訓練塔	69.92 m <sup>2</sup>	192.00 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造	地上4階建て
公用車庫	113.16 m <sup>2</sup>	113.16 m <sup>2</sup>	鉄骨造	地上1階建て
ボンベ庫	2.50 m <sup>2</sup>	2.50 m <sup>2</sup>	-	-
受水槽機械室	4.15 m <sup>2</sup>	4.15 m <sup>2</sup>	-	-

## 主な設備（庁舎棟）

空調方式	パッケージエアコン（EHP）による個別空調方式 サーバー室・通信指令室はバックアップ空調
給排水衛生	受水槽 ポンプ加圧給水方式 合併浄化槽
電気	高圧 6.6KV1 回線受電方式 【非常用発電設備】三相 3線 220V 60Hz 225KW 連続運転可能時間 72時間 【太陽光発電設備】出力約 55KW
昇降機	乗用 EV 13人乗り 1基
駐車場	来客用 10台 職員用 59台

## 主な外部仕上げ（庁舎棟）

屋根	シート防水，露出アスファルト防水，超速硬化ウレタン塗膜防水，折板屋根
外壁	コンクリート打放（低汚染型高耐候水性フッ素樹脂クリア仕上げ），金属系サイディング
車庫床	合成骨材配合散布型強靱床仕上げ
見学デッキ	ウッドデッキ張り

## 主な内部仕上げ（庁舎棟）

### <エントランス・階段・2階廊下>

床	石張り，フローリング張り
壁	RC打放し（杉板型枠），タイル張り，EP塗装
天井	岩綿吸音板

### <大会議室>

床	タイルカーペット
壁	木板張り，壁紙張り
天井	岩綿吸音板

## 工事スケジュール

令和7年1月～令和8年3月

## 工事費

建築主体工事	***
電気設備工事	***
機械設備工事	***



